

平成 28 年度第 1 回高知県教育委員会協議会 概要

【日時等】平成 28 年 11 月 14 日（月）18：30～19：32 高知共済会館 3 階「桜」

【出席者】教育委員会：田村教育長、久松委員、竹島委員、八田委員、中橋委員、平田委員
教育委員会事務局（13 名）

【傍聴者】37 名

会議の概要

1 これまでの検討経緯について

教育委員会事務局から説明

2 校名に関する統合校対象校の学校代表からの意見聴取

高知南中高等学校代表者

【校友会代表】

- ・今まで両校とも校名に関する思いは述べてきたので、校名候補の決定を受けての思いを述べたい。
- ・公募の結果は、高知南中高よりも多く高知西高校から一般の人に投票を依頼したものと考えられる。
- ・高知西の理由に経費の削減になるという意見があるが、新しい学校の校名の優先順位を考えた時に、そこに経費という視点は低い。経費の削減を優先するのなら、これまでの会議を行う必要はなかった。
- ・これから新たな統合校で学ぶのは、卒業生ではなく、これからの新たな生徒たち。
- ・追手前小学校と新堀小学校が統合し、新堀小学校の敷地にできた学校は、はりまや小学校となった。
- ・これまでの 9 カ月を費やした検討委員会での議論、検討したことを尊重し、上位となった高知国際を推薦する。
- ・もし、高知南中高等学校の敷地で統合するのなら、高知南中高等学校と命名されるのかを考えてほしい。新しい校名となることを強く要望する。

【保護者代表】

- ・統合校は国際バカロレアによりグローバル人材を目指す学校である。全国の公立中高の先頭に行く新たな教育を行う。新中高一貫教育校の教育目標に合うふさわしい校名を。公募結果からも県民から国際、グローバルという意見も多く寄せられているので、新中高一貫教育校の校名は、新たな校名を希望する。
- ・県民の関心が高かったこと。8 案に絞り込み、4 つの順に絞られた。6 人中 5 人が 1 位とし、あと一人も 2 位に高知国際を選んでいるので、検討委員会の順位や選定理由を尊重して決定してほしい。高知のトップを目指してほしいという委員もいた。
- ・新中高一貫教育校の保護者や生徒の思いを大切にしてほしい。
高知をけん引する、保育園児もこれからの社会、未来に向けて選べる学校。大人も一緒になって伝統を単に受け継ぐだけでなく、両校のよいところを融合して進めたい。
教育委員会がどのように絞り込み、決定する理由は何か、県民に示してもらいたい。

【質疑】なし

高知西高等学校代表者

【校友会代表】

- ・報告書の理由に気持ちが集約されている。
- ・応募結果は、「高知西」「西」で 8,111 件、95%と異例の圧倒的な支持があった。高知市を含む県内だけでなく、全国からも多数の応募があり、広範な年齢層から応募があった。「高知西」の教育の充実と発展を願う多くの方が、意志表示の行動を起こした価値は大きく、

広く県民の意見を聴いたことの答えとなるので、応募結果を尊重すべき。

- ・大切にし、守るべき、誇るべきものの一つが「校名」である。校名を「高知西」とするため、公募に際して、一致団結して校訓の「貫徹精神」と、共有している建学の精神を発揮し、7,924 件を出すことができた。積極的な行動と貫徹するという校風と伝統という財産を引き継ぐが出来れば、さらに充実し発展させるためにも、歴史と伝統を生かすべき。
- ・高知西高校は、長らく、海外の姉妹校との交流を続けている。そして、2年目となったS G Hの取組も深化している。探究型授業では、国内だけでなく海外にも生徒を派遣しており、「高知西」の校名は、すでに浸透している。I B（国際バカロレア）教育については、教員の派遣やプログラムの開発など、導入準備は開校に向けて着々と進んでいる。また、7,924 件は、高知西だけでなく、高等学校教育や教育行政を支えてくれるサポーターであり、その思いを踏みにじらないよう、県内外から圧倒的な支持のあった高知西に委ねていただきたい。

【保護者代表】

- ・新中高一貫校は、今まで高知西高校が スーパーグローバルハイスクールとして進めてきた教育内容、実績を基にしてより一層レベルアップさせていくものである。現場の教職員の更なる努力、教育委員会様からの更なるご支援、県民の皆様からの応援が必要となる
- ・山田高校のように何度統合しても校名が変わらない学校がある。地域から愛される学校は校名が存続する。
- ・公募の7,924 票は、県民、市民の大切な思いがこもっている。理由、名前、住所、年齢を書く手間を惜しまないのは、高知県の教育をもっと良くしたいという思いがあつてこそ。高知西高校の在校生 834 人に呼びかけて、1,200 通以上の応募があつた。その他、紙以外のメールや専用フォームからの応募もあり、生徒の思いと、これからの高知西への期待を痛切に感じありがたい。
- ・名実ともにすばらしい学校としていくために3つの会（校友会、P T A、国際交流推進会）の協力と8千人のサポーターの力を使って欲しい。

【質疑】

- (委員) 外部からも「これからの子供たちのために高知西を残すように頑張れ」という声があるというが、それと高知西とどう結びつくのか。
- (校友会代表) 自分たちの卒業生の思いだけでなくこれからの生徒への思いや周りのことも考える気持ちを校風として高知西は持っている。
- (教育長) 報告書の理由には、高知西高校関係者のだいたいの思いが盛り込まれているということでしょうか。
- (校友会代表) 主なポイントは集約されている。

3 今後のスケジュールについて

- ・第2回の会議の進め方
どういったポイントで考えていくのかを議論する。
- ・第3回の会議の進め方
校名候補に対する委員の意見をそれぞれ出したうえで、意見をまとめたい。

4 その他

- (委員) 4つの候補以外からは選ばないのか。
→ 今までの検討委員会の経過を踏まえて、この4つの中から一つに絞り込むことで委員確認し、了承。
- (委員) 正直、決定が難しい。統合校の将来の生徒のために、予断を持たずに決定していきたい。